

茎数は「**平年並～やや少ない**」

- ・ 浅水管理と朝・夕の灌漑で分けつの発生を促進しましょう
- ・ 田ワキ対策を行い、分けつの発生と根の健全化を図りましょう

1 5月31日現在の生育状況

【生育診断圃の生育状況】5月31日現在

地帯	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	残存アンモニア 態窒素 (mg/100g乾土)
平坦 はえぬき 5/10移植	本年	27.5	149	5.3	30.4	9.3
	前年	25.6	132	4.7	35.4	7.8
	平年	25.4	161	5.1	34.6	8.0
	平年比・差	108%	93%	+0.2	-4.2	+1.3
平坦 つや姫 5/8移植	本年	29.3	141	5.0	25.7	8.3
	前年	22.5	122	4.4	32.8	6.4
	平年	25.6	130	4.7	32.8	6.0
	平年比・差	114%	108%	+0.3	-7.1	+2.3
平坦 雪若丸 5/11移植	本年	15.2	138	5.1	25.4	6.5
	前年	22.4	125	5.6	32.8	7.2
	平年	23.6	152	5.3	33.5	—
	平年比・差	64%	91%	-0.2	-8.1	—

生育診断圃の生育は、草丈は「はえぬき」、「つや姫」がやや長い、「雪若丸」が短い、茎数は「はえぬき」、「雪若丸」が少ない、「つや姫」が平年並、葉数はいずれも概ね平年並となっています。移植後、活着は順調に進み目立った植え傷みも無く経過し、「雪若丸」の生育にやや遅れが見られるものの、全般に平年並の生育となっています。

2 今後の気象予報と水管理

1か月(05/29～06/28)予報(仙台管区气象台・5月27日発表)によると、気温は平年並または高い確率ともに40%、降水量は多い確率40%、日照時間は少ない確率40%と予想されています。期間の前半は天気为数日の周期で変わり、後半は平年同様に曇りか雨の日が多い見込みです。

- ・ 日中は3cm程度の浅水管理(日中止水)で地水温を高め、朝・夕の灌漑で昼夜の日較差を維持し、分けつの発生を促進しましょう。ただし、強風や低温時は稲体を保護するために深水とします。
- ・ 土壌還元が進行すると根の生育が阻害され、初期生育に大きく影響します。高温の日が続いた場合は速やかに水交換・夜間落水・田干しを行い、分けつの発生と根の健全化を図りましょう(下表)。

【分けつ初期から中期のワキの程度と対策】

ワキの程度	生育への影響	対策
水田に足を踏み込むとわずかに気泡の発生がみられる	なし	—
水田に足を踏み込むと気泡の発生が多い	根の活力低下	水交換
水田に足を踏み込むと盛んに気泡を発生する	根張り不良	夜間落水
晴天時自然に気泡を発生し、音が聞こえる	根の伸長阻害、地上部黄化	田干し

3 田ワキによる生育停滞が見られた場合の対応技術

田ワキによる分げつの抑制や、葉の黄化などの生育停滞等が見られた圃場では、水交換や田干しを行い根圏環境の改善、草勢の回復に努めます。中干し時期（6月20日頃）までに茎数が不足すると予想される場合は、草勢が回復後、分げつを促進するために窒素成分で1kg/10a程度の追肥を行いましょう。なお、有機・特裁では使用できる資材や窒素量に制限があるため、申請内容・栽培概要を確認して、対応を検討してください。

一度田ワキを改善しても好天が続くと再び田ワキが進行するので、圃場の状態を確認し、水交換や田干し等を行いましょう。

4 病害虫防除

<葉いもち>

田んぼに放置された取り置き苗は葉いもちの発生源となり、周囲の圃場にも伝染します。まだ補植苗が残っている圃場は早急に処分しまししょう。

<斑点米カメムシ類>

春先、気温の高い状態が続いたことから、例年より発生が早く、広域で発生していると考えられます。雑草での増殖抑制のため、畦畔・農道等の継続的な雑草対策を徹底しまししょう。

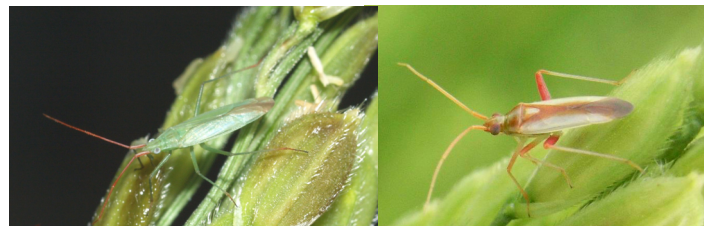


写真1 問題となっているカスミカメムシ類
(左：アヒゲホリドリカスミカメ、右：アスジカスミカメ)

5 雑草対策～残草対策も遅れずに～

昨年も移植後の気温が高く経過し、雑草の生育が早かったことから、除草剤の適用葉齢を過ぎてしまい、残草のある圃場が散見されました。残草対策で除草剤を使用する場合は、必ず薬剤の使用時期や使用方法を確認し、殺草限界になる前に遅れず適切に使用しまししょう。

<農薬は正しく使い、栽培履歴を記録しまししょう！>

農薬を使用する場合は、登録番号を確認して、ラベルをよく読み、登録内容は必ず守りまししょう。また、誤使用防止のため、確認作業は農薬使用直前にもう一度行う習慣をつけまししょう。

- ①適用作物
- ②使用量・希釈倍数
- ③使用時期（収穫前日数等）
- ④総使用回数（成分ごと）

等

農薬の飛散防止に努めまししょう！



STOP！農作業事故！

春季農作業事故防止運動 展開中！ ～6月10日

これから暑くありません！体が慣れていないうちは無理をせず、水分、休息をしっかりとしまししょう…！

休息を
とろう

熱中症予防
声かけプロジェクト

